ためし録りをしましょう

たとえば、話をする人の声の大きさや楽器の音のように、録音する音の大きさや音質、周囲の雑音など、録音環境はさまざまです。また、どの程度の音質を求めるのかも、人によって異なります。
大切な録音を失敗しないためにも、録音の前には必ずためし録りをしましょう。



ノイズを軽減するには

IC レコーダーでは、録音したい音だけでなく、周囲のさまざまな音がノイズとなって録音され、再生したときに聴きづらくなってしまう場合があります。
おもなノイズの原因と軽減方法を紹介します。

● 本体に触れたときの音

録音中はできるだけ本体に触れないようにしてください。



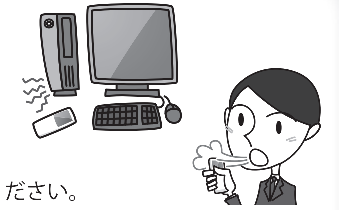
● 机やピアノの振動音（会議・講演・音楽）

机やピアノの上に直接置かず、やわらかい布などを敷いて録音してください。

（スタンド付きの機種はスタンドを立ててください。）



● エアコン、プロジェクター、パソコンなどの動作音
● 口元で録音するときのマイクに吹きかかる息の音
● 風が強い日の風切り音



本体のマイク録音設定を変更してください。
- マイク感度を「低」に設定する
- Low Cut フィルタを「ON」に設定する

（ウィンドスクリーン付きの機種は本体マイクにウィンドスクリーンを取り付けてください。）



●衣服（ポケットなど）と擦れる音

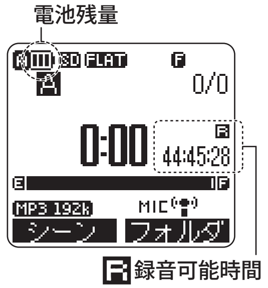
ポケット内で本体が動かないよう、マイク部分をふさがないようにハンカチなどでくるんで固定してください。



録音可能時間・電池残量を確認しましょう

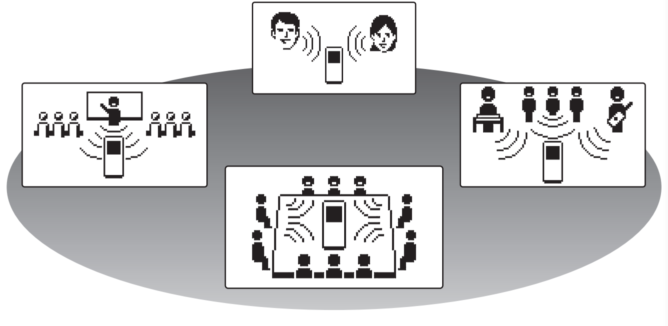
録音可能時間や電池持続時間は、録音モードの設定によって変わります。
録音する前には必ず録音可能時間と、電池残量が十分であることを確認しましょう。





シーンセレクト機能をおすすめします

より良好な録音結果を得るには、録音する場面や状況にあわせて、本機の各種設定を適切に設定することが重要です。
シーンセレクト機能を使えば、録音シーンを選ぶだけで当社推奨の設定を一括で呼び出しますので、シーンに応じたおまかせ録音ができます。

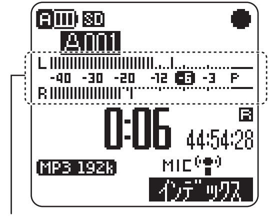


※ 機種によりシーンの種類は異なります。

録音レベルメーターを確認しましょう

録音レベルメーターは、録音時に IC レコーダー本体が認識している音の大きさを表します。
録音時は、レベルメーターを確認しましょう。

- 画面に「PEAK（ピーク）」が表示される場合、音が大きすぎて歪んだ音で録音されます。マイク感度を下げてみてください。
- 録音レベル（Mic Level）を「0」に設定すると、「＊消音中＊」が表示されます。「＊消音中＊」の表示中は無音が録音されますのでご注意ください。

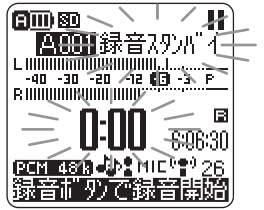


録音レベルメーター
※右に振れるほど大きな音で録音していることを表します。

録音スタンバイ画面について

本体の設定によっては、録音ボタンを押したときに録音スタンバイ画面になります。
録音スタンバイ画面が表示された場合は、録音レベルが適正であることを確認してから、もう一度録音ボタンを押してください。録音を開始します。





SANYO

IC レコーダー

録音ワンポイントアドバイス

より上手に、より便利に録音していただくために、録音環境に応じた録音のコツを紹介しています。

「うまく録音できるかな・・・」という方から「もっとうまく録音したい！」という方まで、ぜひ参考にしてみてください。

また、取扱説明書をよくお読みのうえ、録音、再生、消去の基本操作をマスターしましょう。

1AJ6P1P0102--　(0910-PS-GP)（JP0）